



卓球を通じて交流しました

志布志運動公園体育館で「こころざし卓球交流大会」が開催されました。

3月19日、同じ地域で卓球をするもの同士の交流、若い世代の育成を目的に開かれ、市内の小中高生から社会人まで約40名が参加しました。当日は子どもから大人まで卓球を楽しみ、小学生が社会人を打ち負かす場面もあるなど、歓談も交えながらにぎやかな雰囲気の中で試合が行われました。



自衛隊入隊者を激励しました

平成27年度自衛隊入隊者壮行会が開催され、入隊予定者9名が参加しました。

3月13日、有明地区公民館で開催された同会に、入隊予定者10名のうち9名が参加しました。壮行会では市長のほか海上自衛隊鹿屋航空基地隊指令、地元出身自衛隊員などから激励の言葉が贈られました。入隊予定者は、この春から全国各地の教育隊に着任し訓練に励みます。

石橋巡りバスツアーを開催

志布志歴史研究会のガイドで志布志に残る魅力的な石橋を巡るバスツアーが開催されました。

3月13日、市内各地に残されている石橋を巡り、石橋を研究している志布志歴史研究会のほか石橋を造られた方々の子孫や保護活動をされている地元の方々の説明も交え、楽しく学びました。参加者は「使われなくなっても、地元の方々に大事に守られている石橋の姿にとっても感動した。」と話していました。



地域住民の協働が評価されました

山重地区ふるさとづくり委員会が県大開地域振興局長から表彰されました。

3月8日、平成27年度おおすみの地域力表彰の表彰式が大開地域振興局で行われました。山重地区では、ふるさとづくり委員会、公民館、地域住民が協働で高齢者の見守り活動、グラウンドゴルフ場の整備、イベント等を多数開催しており、これまでの積極的な取組が評価されました。



お茶づくりで癒しと健康を

自然環境に配慮したお茶づくりを目指す志布志有機茶研究会（堀口千郎会長）が発足しました。

3月5日、鹿児島県茶業試験場大開支場において同会の設立総会が開催され、市内でお茶づくりを行う会員17名が出席しました。同会は、微生物・土着天敵などの自然環境に配慮した更に安心安全でおいしいお茶づくりや園芸、畜産など他の作物との技術の交換などに取り組んでいます。



無人ヘリ競技の県大会で優勝

航空防除などの無人ヘリ操縦技術を競う鹿児島県無人ヘリコプター飛行技術競技大会で優勝しました。

3月11日、薩摩川内市で開催された同大会の技能認定証取得後5年以上の部に、志布志市農業公社の猜野宏樹さん（オペレーター、有明町）、有川信幸さん（ナビゲーター、松山町）ペアが出場し見事優勝しました。お二人は今年10月に茨城県で開催される全国大会に出場します。

全国各地から多数の参加がありました

SHIBUSHI FOOTBALL FESTIVAL がしおかぜ公園など市内のグラウンドで開催されました。

3月27日から4月2日に開催された同大会に、全国各地のサッカークラブチームや中学校、高校など36団体が参加し、約900名の選手が志布志市で交流戦を行いました。同大会は3つの年代別にそれぞれ熱戦が繰り広げられ、協賛のBORT RACEによる表彰式も行われました。



福祉の向上に役立ててください

株式会社 KAMIMURA 志布志福祉斎場から福祉の向上に役立ててほしいと寄附がありました。

3月14日、同社の上村伸一さん（代表取締役）が市長室を訪れ、チャリティ活動で集めた寄附金を市長に手渡しました。上村さんは、以前各地の福祉大会などに仕事で携わった経験から、何か恩返しをしたいとこの活動に取り組んでいます。頂いた寄附金は、児童福祉向上のために使われます。

